

新庄商工会議所 環境アクションプラン

～ みんなで取り組む しんじょうECOアクション ～

期間／2025年度(令和7年度)～2029年度(令和11年度)

(令和6年12月10日 策定)

1. 策定趣旨

世界的な脱炭素社会へ向けた動きが加速する中、我が国は「2050年カーボンニュートラル」、「2030年度温室効果ガス排出46%削減(2013年度比)」という目標を掲げ、温室効果ガス削減に取り組むことを宣言しました。

山形県も2020年8月に「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言し、この達成に向け、2021年3月、「ゼロカーボンへのチャレンジ」をテーマに「第4次山形県環境計画」を策定しました。また、新庄市では1999年6月に「環境保全都市宣言」を宣言し、現在は2021年3月に「第3次新庄市地球温暖化対策実行計画」(事務事業編)を策定しています。

産業界においても、国内外でサプライチェーン全体の脱炭素化と、それに伴う経営全体の変容(GX)が加速しており、中小企業においても省エネ・脱炭素の取り組みは避けては通れない課題となっています。特に中小企業がカーボンニュートラルに取り組むことは、省エネによるコスト削減、資金調達手段の確保、企業や製品の競争力向上など、経営力強化にもつながるため、積極的に取り組みを推進していく必要があります。

新庄商工会議所では、地域総合経済団体として、このゼロカーボンの実現に向けて主体的に環境負荷を低減するための取り組みを推進し、エネルギー効率の向上、廃棄物削減・リサイクル、環境に配慮した製品やサービスの普及促進など、地域の中小企業による脱炭素化の取り組みを支援・推進します。

2. 基本方針

当所の会員企業が、業種を問わず自主的に環境負荷低減活動に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献できるよう、情報提供やノウハウ共有を積極的に行います。また、当所事務局においても、具体的な環境対策を推進し、その成果を会員企業に共有することで、共に環境負荷の少ない持続可能な社会の実現を目指します。

3. 実施体制・達成目標の検証

毎年度、実施事業の執行状況を確認し、その結果を踏まえ、必要に応じて当アクションプランの改定を行います。またCO₂排出量の算出については、日本商工会議所が提供する「CO₂チェックシート」を活用します。

4. 実施事業

(1) 会員事業所の取り組みへの支援

- ① 会報・HP等で環境関連制度等の情報を発信します。
- ② 会員事業所のCO2排出量の実態把握を支援するため、日本商工会議所の「CO2チェックシート」を周知し、利用促進を図ります。
- ③ 省エネ最適化診断などの省エネ支援サービスの周知・利用促進を図ります。
- ④ 東京商工会議所「eco 検定（環境社会検定）」の周知を行います。
- ⑤ 環境問題や省エネに関連したセミナーを開催します。（新庄エネルギー懇談会との共催）
- ⑥ 環境対策先進企業等視察会を実施します。（新庄エネルギー懇談会との連携）

(2) 地域・行政等と連携した取り組みの推進

- ① 行政・関係機関と連携した各施策、キャンペーン等への協力を行います。
- ② 環境対策に取り組むための支援施策等を要望してまいります。

(3) 商工会議所事務局内の環境対策活動の推進

- ① 「CO2 チェックシート」を活用しエネルギー使用量の見える化を図り、以下の取り組みを通じて CO2 削減を目指します。
 - ・複合機の省電力設定、不使用時のPC電源切断等、OA機器の待機電力低減
 - ・会館内での不要時消灯の徹底や待機電力の削減
 - ・季節に合わせた事務室や会議室の空調適温化(室温夏 28℃、冬 20℃を目安)
 - ・クールビズ、ウォームビズの実施
 - ・コピー用紙の使用量削減(資料ペーパーレス化、両面印刷、裏面再利用等)
 - ・PEFCまたはFSC認証を受けたコピー用紙の使用
 - ・使用済み封筒の再利用
 - ・懇親会の発注量見直し等による食品ロスの削減
 - ・エコドライブ(アクセル、ブレーキ、速度、アイドリングストップ)の推進
 - ・給湯室、トイレ等における節水の徹底
 - ・3R(Reduce・Reuse・Recycle)の推進(ごみの減量化と分別による再資源化)
 - ・5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)活動の徹底。
- ② 人材育成(職員への環境教育)
 - ・環境、省エネ関係セミナーへの参加の推奨
 - ・東京商工会議所「eco 検定(環境社会検定)」の受験の推奨
 - ・マイバッグ、マイボトル、マイ箸の推奨

以上、新庄商工会議所「環境アクションプラン」に基づいた取り組みを継続して行うことで、SDGsにも繋がる持続可能な社会の実現を目指します。